

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます

加古川中央市民病院 地域連携情報誌



き ら り

vol.26
2020年9月



巻頭言
 コロナ禍における地域医療連携 2
 地域への情報発信
 新型コロナウイルスとの闘いは続いています。 3
 診療ドクター紹介
 糖尿病・代謝内科 ～地域に根差した医療の実践～ 6
 連携医紹介
 荒川クリニック・楽楽クリニック 7
 連携室ニュース
 2020年度 地域連携会議の中止について 8
 SPECT-CT装置導入について 8
 正面玄関の開錠時間の変更について 8
 FAX予約受付時間の延長について 8

特集 4-5

口唇裂・口蓋裂治療 チーム

～傷を治すだけでなく、健やかな
成長をサポートする～

コロナ禍における 地域医療連携



院長補佐（兼 患者支援センター長（兼））
脳神経外科 科部長

うる い せい し ろう
潤井誠司郎

平素は当院の地域医療連携に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

早いもので、私が4月に患者支援センターのセンター長に就任いたしましたから、半年を迎えようとしております。

この間、新型コロナウイルス感染症により、当院はもとより地域の医療・介護機関の皆様におかれましても、前例のない中で想定外の判断・対応を迫られることが多く、大変ご苦労されていることと存じます。特に兵庫県を含む7都府県に緊急事態宣言が4月に発出されたことに伴い、当院も、新型コロナウイルス感染症への対応と緊急患者の治療を最優先するため、通常の外來診療を約2か月間制限させていただきました。地域の先生方のあたたかいご理解・ご協力を頂戴いたしましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

ワクチンや確立された治療薬もない現状において、今後も新型コロナウイルス感染症は医療・介護業界のみならず、日本全体に大きな影響を与え続けると思います。医療・介護従事者にとりましては、新型コロナ対策と通常の医療との両立が必要な状況がまだまだ長く続くと予想されます。今秋以降では、インフルエンザの流行などはまさに大きな脅威となることでしょう。

しかし「ピンチはチャンス」と受け止め、こんなときこそ私どもが地域の高度急性期を担う基幹病院であることを再認識し、地域の先生方と手を取り合っこのピンチを乗り越えていければと思っております。諸先生方には今までと変わらぬご指導・ご鞭撻を賜れましたら幸いです。

最後に、当初5月に予定し、その後延期させていただいておりました地域連携会議につきましては、新型コロナウイルス感染症の現況に鑑み、今年度は正式に中止させていただくことといたしました。私自身も地域の医療・介護機関の皆様にお会いすることを非常に楽しみにしていただけに残念でなりません。今年度は時間の許す限り私どもの方から地域の先生方のところへ訪問させていただくつもりでおりますので、何卒宜しく願い申し上げます。

新型コロナウイルスとの闘いは 続いています。



緊急事態宣言は5月25日に解除されたものの、その後も新型コロナウイルスは収束の気配を一向に見せておりません。7月に入ると感染者数は再び増加していき、7月下旬には国内の1日の感染者数は初めて1,000人を超え、兵庫県でも「感染拡大期Ⅰ」に入りました。9月に入り、少し落ち着きを見せているもののインフルエンザ流行期を前に予断が許されない状況が続いております。(9月1日以降、兵庫県は「感染警戒期」)

当院でも、様々な設備や機器を導入したり、入院前・術前検査を強化したりするなど、感染防止に向けた取り組みを継続して行ってまいります。

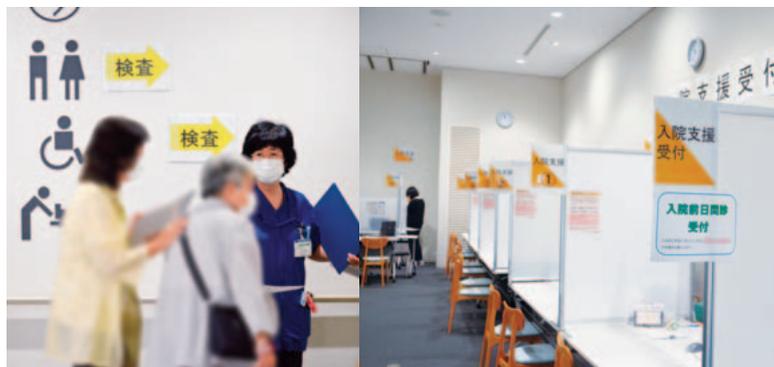
● 帰国者・接触者外来での継続診療

院外に設置したコンテナで、他の患者さんと分離した診療を行っています。



● 入院前・術前検査 (LAMP法) の実施

入院前に発熱症状のある方、14日以内に感染リスク行動のある方などに対して、入院前日に検査を実施しています。



● 玄関前の発熱問診・検温ロボット

密集を避けるために午前中は、併設の光(きらり)ホールに入口を設置し、来院の方すべてに検温と問診を行っています。

診察待合での密集状態の緩和のために、携帯メール呼出サービスをご利用いただくよう、ロビーにて案内を行っています。



● 紫外線消毒装置の設置

UV-C 紫外線照射システム UVDI-360の導入

患者さんが退出後、病室のUV照射を行い、除菌しています。

本機は高出力の紫外線照射ランプを4本装備し、360°の広範囲の環境表面を除菌します。

一つの部屋に3機を用いて部屋全体を除菌し、院内感染防止に努めています。





口唇裂・口蓋裂治療チ

～傷を治すだけでなく、健やかな成

口唇裂・口蓋裂治療について

口唇裂・口蓋裂のお子さんを出産されたお母さん、およびご家族の方々の衝撃や不安は非常に大きいと思います。しかし、医学の進歩に伴って口唇裂・口蓋裂の治療はかなり進んでおり、きちんと治療できる疾患であるということをはじめに知っていただき、安心して治療を受けていただきたいと思います。

口唇裂・口蓋裂治療は形成外科医、口腔外科医、言語聴覚士、耳鼻科医、矯正・小児歯科医、小児科医などのスタッフによるチーム医療を必要とする高度医療の一つであり、東播地域では口唇裂・口蓋裂治療を行える医療機関がなかったのが実情です。

しかし、加古川西市民病院および東市民病院の合併に伴い、口唇裂・口蓋裂治療を行うことが可能となりました。加古川中央市民病院では必要な治療が当院で完結できるよう口唇裂・口蓋裂治療チームを結成し、2014年から治療実績を重ねてまいりました。

地域の先生方におかれましても、安心して当院にご紹介いただけるように、努力しておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



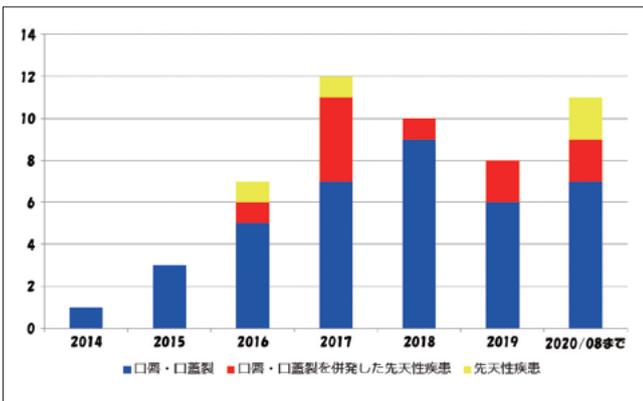
形成外科 主任医長 **岩谷 博篤**



歯科口腔外科 医長 **福岡 裕樹**

歯科口腔外科では保険矯正歯科外来、口蓋裂・顎変形症矯正歯科外来を立ち上げ、主に口唇裂・口蓋裂、先天性疾患患者さんの診療を行っています。当科では出生直後のHotz床やNAMなどの術前顎矯正治療から始まり、発語が開始する時期には言語聴覚士による構音評価を経て構音補助装置を制作し言語治療の補助を行います。その後は永久歯の萌出状況を確認しながら適切な時期に歯科矯正治療を開始し、必要に応じ上下顎骨切り術等併用する外科的矯正治療を行います。また、先天歯、歯の形態・歯数の異常、かみ合わせの異常、上下顎骨形態の異常、舌、小帯など口腔周囲軟組織異常等口腔内の異常所見全般も診察しています。もちろん全治療期間に渡り、口腔衛生管理や口腔筋機能療法を行い健全な口腔内環境や口腔機能の獲得を目指していきます。尚、本邦では厚生労働省が定める口唇裂・口蓋裂を始めとした59疾患に対する歯科矯正治療が保険適応と認められています。

これまで当科を受診した 口唇裂・口蓋裂、先天性疾患患者数の推移



口唇裂・口蓋裂関連の手術数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
件数	1	4	11	10	13	20



歯科矯正治療に係る療養給付の対象となる先天性疾患

- | | | | | | |
|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|-----------------------------|
| 1. 唇顎口蓋裂 | 13. 脊髄性筋萎縮症 | 25. 色素失調症 | 37. ルビンスタイン・ティビ症候群 | 49. クラインフェルター症候群 | 55. ケルビズム |
| 2. ゴルデンハー症候群(嚥下異常症を含む) | 14. 顔面半側肥大症 | 26. 口腔・顔面・指趾症候群 | 38. 染色体欠失症候群 | 50. 偽性低アルドステロン症 | 56. 偽性副甲状腺機能低下症 |
| 3. 鎖骨頭蓋骨異常形成 | 15. エリス・ヴァンクレンベルド症候群 | 27. メビウス症候群 | 39. ラーセン症候群 | 51. ノトス症候群 | 57. Ekman-Westborg-Julin症候群 |
| 4. トリーチャ・コリンズ症候群 | 16. 軟骨形成不全症 | 28. 歌舞伎症候群 | 40. 濃化異骨症 | 52. グリコサミグリカン代謝障害 | 58. 常染色体体重複症候群 |
| 5. ピエール・ロパン症候群 | 17. 外胚葉異常形成症 | 29. クリッペルト・レノエウパー症候群 | 41. 6歯以上の先天性部分(性)無歯症 | 53. 線維性骨異形成症 | 59. その他顎・口腔の先天異常 |
| 6. ダウン症候群 | 18. 神経線維腫症 | 30. ウイリアムズ症候群 | 42. CHARGE症候群 | 54. スタージ・ウェバー症候群 | |
| 7. ラッセル・シルバー症候群 | 19. 基底細胞母斑症候群 | 31. ビンダー症候群 | 43. マーシャル症候群 | | |
| 8. ターナー症候群 | 20. ヌーナン症候群 | 32. ステックラー症候群 | 44. 成長ホルモン分泌不全性低身長症 | | |
| 9. ベックウィズ・ウィーデマン症候群 | 21. マルフアン症候群 | 33. 小舌症 | 45. ポリエックス症候群 | | |
| 10. 顔面半側萎縮症 | 22. プラダー・ウィリー症候群 | 34. 頭蓋骨癒合症 | 46. リング18症候群 | | |
| 11. 先天性ミオパチー | 23. 顔面裂 | 35. 骨形成不全症 | 47. リンパ管腫 | | |
| 12. 筋ジストロフィー | 24. 大理石骨病 | 36. フリーマン・シェルドン症候群 | 48. 全前脳症 | | |

※(59)のその他顎・口腔の先天異常とは、顎・口腔の奇形、変形を伴う先天性疾患であり、当該疾患に起因する咬合異常について、歯科矯正の必要性が認められる場合に、その都度所轄の厚生局に内議の上、歯科矯正の対象とすることができます。

令和2年4月1日改定

チーム 長をサポートする～



口唇裂・口蓋裂治療チームの中で耳鼻咽喉科では滲出性中耳炎による難聴の改善と言語獲得に関する役割があります。

口唇裂・口蓋裂には耳管機能不全を合併することが多く、滲出性中耳炎の子供さんがたくさんおられます。特に生後半年から1年の間の言語を習得していく時期に難聴があると言葉が出てこないなどの問題が起こってきます。

当院では形成外科で3～6か月頃に口唇閉鎖術が行われることが多く、滲出性中耳炎がある場合は同時に鼓膜換気チューブを挿入し、聴力改善を得られるようにしています。チューブ留置が数年間必要になる症例が多いのですが、1歳半ごろの口蓋閉鎖術が終わると滲出性中耳炎が改善する例もあります。また小学校に入ると自分で耳抜きをするなどある程度コントロールができてくることもあります。

構音訓練は言語聴覚士の対応になりますが、聴力も含めて耳鼻咽喉科で息の長い治療が必要になる疾患ですので、地域の先生方との連携も含めてより良いQOLを目指していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

耳鼻咽喉科 主任科部長 **安井 理絵**



ベビーセンターはNICU15床、GCU30床を有し、ほとんどあらゆる新生児疾患の治療に対応可能な施設です。

口唇裂・口蓋裂の赤ちゃんが入院された時には、形成外科や歯科口腔外科と連携し、Hotz床の作成および装着、特殊乳首を使った哺乳や、可能であれば直接授乳を行い、多彩なタイプを示す口唇裂・口蓋裂の赤ちゃんにとって最適な栄養方法の選択をし、順調な体重増加を確認します。また、退院に向けては、母親家族が決定した栄養方法を不安なく実践できるまで、しっかりと手技の指導を行い、退院後も治療がスムーズに継続できるように支援します。

長期的には、患者さんの成長と、言語発達を含めた健やかな発達をフォローアップ外来にてチェックして参ります。

院外出生した赤ちゃんであっても、転院や外来紹介に関する相談を24時間365日受け付けます。ぜひご相談ください。

周産母子センター 副センター長(兼)小児科 科部長 **森沢 猛**



当院リハビリテーション室では言語聴覚士が口唇裂・口蓋裂のお子さんに新生児期の哺乳から介入を開始し、必要に応じて哺乳瓶の選択や飲みませ方のアドバイスを行っています。3～4歳頃になると、ことば(発音)の発達についての関わりを開始します。口唇裂・口蓋裂のお子さんの中には声が鼻に抜けやすい(開鼻声)、発音が不明瞭になりやすいなどの特徴が出ることもあり、定期的な関わりを行うことで、より良いことばの発達を支援します。また、関わりを継続する中で、開鼻声や不明瞭なことばの症状の改善が難しい場合、関連する診療科の先生方と補綴具の装着や手術の適応についても検討していきます。当院では口唇裂・口蓋裂の治療について多職種でのアプローチが可能です。お子さん・ご家族の不安が少しでも軽減できるように連携して対応しています。

言語聴覚士 **黒田 伸治**



治療経過

	出生時	手術直前	手術後
Operation Case 1 片側 口唇口蓋裂			
Operation Case 2 両側 口唇口蓋裂			

実際の症例をイラスト化したものです

糖尿病・代謝内科

～地域に根差した医療の実践～

詳しくはホームページをご覧ください

加古川中央市民病院 糖尿病・代謝内科 検索



はり ゆうすけ
播 悠介 ■ 糖尿病・代謝内科 主任医長

加古川中央市民病院に2017年に赴任してから4年目となりました。今年度から主任をさせて頂いております。糖尿病治療は病診連携が非常に重要と考えております。いつでもお気軽にご紹介、ご相談ください。

専門分野
糖尿病・内分泌

学会専門医・認定医

日本内科学会総合内科専門医・指導医
日本糖尿病学会糖尿病専門医
日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医
厚生労働省認定臨床研修指導医



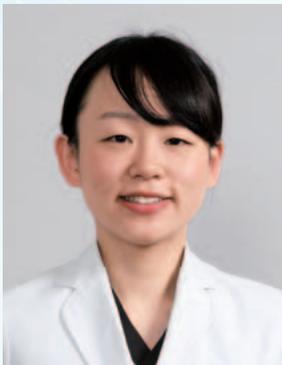
たかはし りく
高橋 陸 ■ 糖尿病・代謝内科 医師

神戸大学医学部附属病院・神戸市立医療センター西市民病院を経て当院へ赴任することになりました。糖尿病治療でお困りの際には、いつでもご相談頂けましたら幸いです。誠意と熱意を持って診療にあたりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

専門分野
糖尿病・内分泌

学会専門医・認定医

日本内科学会認定内科医



ひじい さとこ
肘井 慧子 ■ 糖尿病・代謝内科 医師

限られた時間の中でも丁寧な問診を行い、患者さんの気持ちに寄り添えるよう心掛けて診察をしています。未熟ではありますが、東播磨地域の糖尿病医療に少しでも役立つよう努力して参ります。引き続き糖尿病・妊娠糖尿病症例をご紹介いただければと存じます。

専門分野
糖尿病・内分泌

学会専門医・認定医

日本内科学会認定内科医

加古川中央市民病院 外来担当表(糖尿病・代謝内科)

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	播 悠介		肘井 慧子		播 悠介		播 悠介		高橋 陸	
糖尿病・代謝内科	妊娠糖尿病 外来 肘井 慧子				糖尿病内分泌 外来 山本 直希		肥満外来(診のみ) 肘井(第1・3・5) 高橋(第2・4)			



当科は現在、常勤スタッフ3人です。少ない人数ではありますが、日本糖尿病学会認定教育施設であり、急性期を含む1型糖尿病、2型糖尿病や妊娠糖尿病、糖尿病合併妊娠など幅広く診療に当たっています。当院では肥満外科治療もしており、手術までの内科的減量治療は当科で行っています。また今年度から水曜日に内分泌外来も設けており、内分泌疾患にも力を注いでおります。これからも地域に根差した医療の実践に努力していきます。



連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

医療法人社団 楽裕会

私は平成9年に、高砂市で高砂市民病院の南東に向かいあって開業しました、荒川クリニックの荒川と申します。専門は内科、腎臓内科、透析です。当時は加古川市民病院にはまだ腎臓内科、透析室が無く、患者さんの検査、治療の連携先は、高砂市民病院、神戸大学病院、明石医療センターなどが多かったです。60歳まで非常勤講師として神戸大学で慢性腎臓病の講義もしていました（現在は臨床教授を拝命しています）。透析ベットは43台で常に最新の治療を出来るよう心がけて来ました。そして通院透析患者さんの数も次第に増加しましたが、その半数は加古川在住の方達で、当院に朝通院するのに橋が大変渋滞し1時間も掛かると伺いました。車椅子対応の送迎もしていましたが患者さんの利便を考え、加古川市に分院を開設する事にしました。平成26年に完成し加古川の患者さんに移って頂きました。その1年後に加古川中央市民病院が完成、腎臓内科、透析室も出来、いっしょに加古川中央市民病院との交流が深まることとなりました。

上記のごとく加古川町栗津に開院した分院は楽楽クリニックと命名し、広い敷地に高齢の患者さんへの対応も考慮し、1階にワンフロア42台の広々とした透析室を作りました。こちら最新透析機器（荒川クリニック同様、オンラインHDF、B-Vモニター、再循環率測定等）を取り揃え、緊急時の検査（CBC、CRP、血液Gas、Kなど電解質、BUN、クレアチニンなどの生化学）も自院で出来るようにしています。当院から加古川中央市民病院へは自動車でも5分ほどの至近距離にあり、もし狭心症、脳卒中、急性腹症、内シャント閉塞などの急性疾患発症の時でも、多くの場合、上記病院にて入院加療して頂いており、病診連携は大変順調にしています。以上の如く私達の2診療所にとって加古川中央市民病院は、なくてはならないパートナーになって頂いております。



理事長
荒川 俊雄 先生

荒川クリニック

診療科：腎臓内科／透析内科／内科



院長
高橋 理砂 先生



所在地：高砂市荒井町日之出町10-11
駐車場台数：41台

TEL.079-443-5566

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
外来	午前 9:30~12:30	○	○	○	○	○	○	-
	午後 15:00~17:00	-	○	-	-	-	-	-
	午後 15:30~17:30	○	-	○	-	○	-	-
透析	9:00~17:00	-	○	-	○	-	○	-
	9:00~23:00	○	-	○	-	○	-	-

※外来休診：木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日、お盆、年末年始
※透析は日曜日のみ休診。祝祭日は平日と同様の時間で診療しています。
※月・水・金の夜間は非常勤医が担当する場合がございます。
※金曜日午後をメインに、米澤医師による「もの忘れ外来」診療をしております。

楽楽クリニック

診療科：腎臓内科／透析内科／内科



院長
米澤 一喜 先生



所在地：加古川市加古川町栗津581番地2
駐車場台数：33台

TEL.079-427-5566

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
外来	午前 9:30~12:30	○	○	○	○	○	○	-
	9:00~17:00	-	○	-	○	-	○	-
透析	9:00~23:00	○	-	○	-	○	-	-

※外来休診：日曜日、祝日、お盆、年末年始
※透析は日曜日のみ休診。祝祭日は平日と同様の時間で診療しています。
※水の夜間は非常勤医が担当する場合がございます。

2020年度 地域連携会議の中止について

本年5月28日に開催を予定しておりました2020年度地域連携会議については、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催の延期をご案内しておりました。(参考：加古川中央市民病院ホームページ 2020年4月8日付)

しかしながら、緊急事態宣言が解除された後も新型コロナウイルス感染症はなかなか収束に至ることはありません。このような状況下で地域の医療機関・介護施設等の方々に来ていただき、会議を開催してもよいものかを当院でも慎重に検討いたしました。その結果、今年度の地域連携会議は中止させていただくことになりました。

ご予約していただいていた医療関係者の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解の程よろしくをお願いいたします。

SPECT-CT装置導入について

当院では2020年6月27日より7月26日まで約1か月、SPECT-CT装置の更新(新規)工事を行い、SPECT検査の受け入れを休止させていただいておりました。

8月より、SPECT装置に代わりSPECT-CT装置を導入致します。この装置は従来機と比べ、CT装置(16列マルチスライス)を装備しているため、画質が向上することはもちろんCTとのFusionを行うため、解剖学的位置が分かりやすくなっています。

正面玄関の開錠時間の変更について

2020年8月より、正面玄関の開錠時間を下記の通り変更いたしました。

7時15分(従来) → 7時45分(変更後)

地域の先生方へは、患者さんへの案内等でお手数をお掛けいたしますが、何卒ご理解・ご協力の程よろしくをお願いいたします。

F A X 予約受付時間の延長について

2020年9月より、地域の医療機関からのご意見・ご要望を踏まえ、下記のとおり予約申込時間を変更いたします。

■予約受付時間の変更

平日9時～17時 → 平日9時～18時 (変更後)

*ただし木曜日は除きます。

*17時以降は診療時間外になりますので、すべての予約申込には対応できかねますのでご了承ください。

*17時以降は翌日の予約はお申込みできません。

